

栗田賢二 （幼少） 哲学者。明治二十二年九月十五日長崎縣生れ（一九〇一）。大正十四年東京帝國大學文學部哲学科卒。武蔵高等學校教諭、岩波書店編輯。

- 譯書、ソルトマン著『觀念論と實在論の此方』（昭和二年十一月、二百岩波書店）、「哲學論叢」（、フオールレンデル著『西洋哲學史』全三冊（其譯、昭和四年五月、二十一年九月十五岩波書店）、エングルス著『反デュリング論』全二冊（上卷・昭和二十七年四月五日、下卷・四十一年六月十六岩波書店）、「岩波文庫」（、C・F・ワイツゼッカー著『原子力と原子時代』（富山小太郎共訳、昭和二十二年六月十七岩波書店）、「岩波新書」（、B・ダンナム著『鎖かざりなされた巨人—人類解放の哲学』全二冊（上・昭和二十四年二月十七日、下・六月二十日岩波書店）、「岩波新書」（、F・ハツマンハイム著『近代人の疎外』（昭和二十五年七月十八日岩波書店）、「岩波新書」（、C・B・マクアヤーン著『現代世界の民主主義』（昭和四十一年五月二十日岩波書店）、「岩波新書」（、レーニン著『カール・マルクス他十八篇』（昭和四十一年十月十七日岩波書店）、「岩波文庫」（、P・M・シユル著『機械と哲学』（昭和四十七年二月、二十五日岩波書店）、「岩波新書』（等。繪書『社會主義と自由』（昭和二十九年一月、二十日岩波書店）、「岩波新書」（、『哲学』（古在由香共編、昭和二十二年十月十日岩波書店）、「岩波新書』（等。